

# シーズン前の暖房機チェック項目再確認！

## 加温機は「点検・手入れ」がた・い・せ・つ

ハウス加温機は使用方法や手入れの仕方により、その性能を十分に発揮させることにも、逆に燃料の無駄遣いや機械の寿命を縮めてしまうこともあります。



<型式：HK4027TCV>

## A 重油 焚ハウス加温機の使用にあたって大事なコト

ハウス加温機の燃料である A 重油は日本工業規格(JIS)により品質が規定されています。(全農では JIS より厳しい規格を設定し、品質管理を行っています。)

しかし、生産時期により品質に多少の差があり、夏場生産の A 重油を冬場に使用すると、フィルターの目詰まり等を引き起こす可能性があります。また、低油温での A 重油の粘性は高く、加温機において噴霧状態が悪化し、燃焼不良にもつながります。

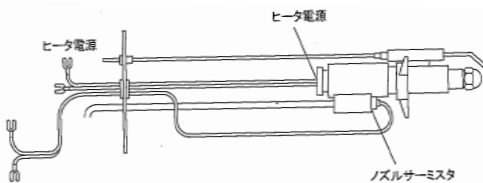
そのため **①適切な時期に適切な油をご使用ください**(長く置いた A 重油は使用しない)

あわせて **②ノズルヒータが正しく動いているか確認をお願いします**(燃焼状態の向上のため)

## ノズルヒータの点検について



加温機は **ノズルヒータ ON** で稼働！



<表：ネポン社製加温機 各型式のノズルにおけるエラーコード>

| 加温機型式       | エラーコード | 状況              |
|-------------|--------|-----------------|
| HK25・27・27V | E-19   | 断線、又は昇温不足       |
| HK20・22     | E03    | ノズルサーミスタ部分の断線   |
|             | E04    | ノズルサーミスタ部分の短絡状態 |
|             | E05    | ノズルヒータの昇温不足     |

ノズルからの噴射前燃料の油温を瞬時に上げるノズルヒータは断線しやすく、故障しやすい箇所です。

**ノズルヒータが働いていないと、燃料消費量の増加や不着火、黒煙の発生等につながります。**

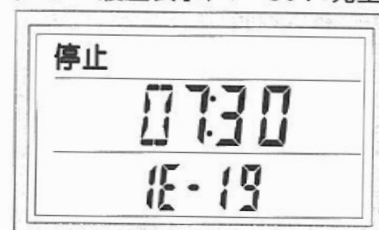
ノズルヒータが働いていない場合、上表のようなエラーコードが表示されます。定期的を確認し、故障の場合、修理対応をお願いします。

【要確認】表示点滅



<ノズルヒータ異常の表示>

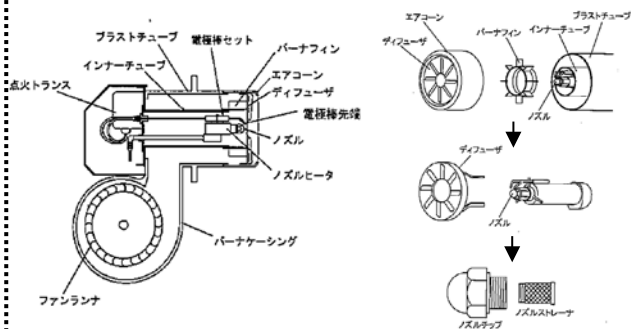
E-19 表示  
(エラー履歴表示、7:30に発生)



<コントローラでの表示 (型式：HK27) >

## 重要な点検項目について

### ⚠️ **ノズルは定期的に交換しましょう！**



＜バーナ部分の構造＞

＜バーナ部分の分解順序＞

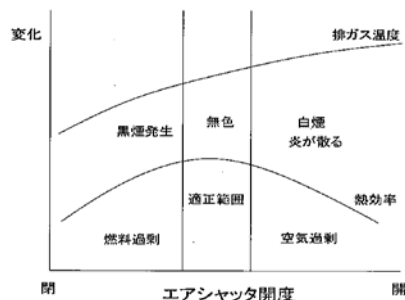
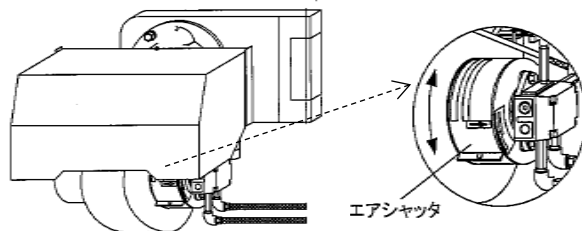
A 重油が噴射されることにより、ノズルが摩耗し口径が変形し、燃料の噴射状態が悪くなります。

不着火や不完全燃焼の原因となりますので、**ノズルは定期的な交換\***をお勧めします。

※ノズル交換の目安(累積燃焼時間)

A 重油の場合: 約 1000 時間

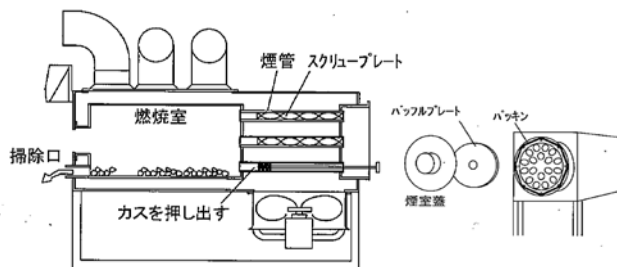
### ⚠️ **エアシャッターを調整し、煙突から煙が見えなくなる状態にしましょう！**



シャッターの開度は開き過ぎても、閉め過ぎても燃焼効率が悪くなり、ススを発生させます。

**エアシャッターの開度は適切な位置を保ちましょう！**

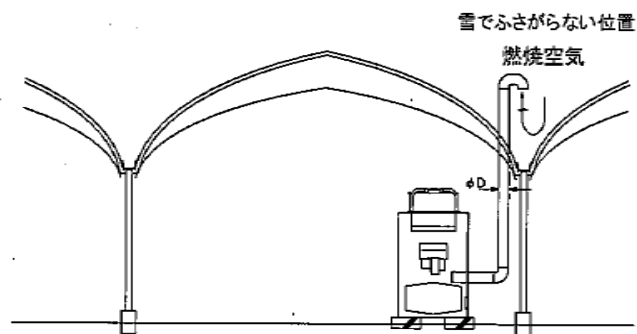
### ⚠️ **シーズン終了後に清掃を！**



清掃せずに燃焼カスを放置しておくと、缶体の腐食が早まり、寿命が短くなります。

**使い終わったら清掃**するよう心がけましょう！

### ⚠️ **バーナで油を燃焼させるためには大量の燃焼空気を要し、給気口が必要です！**



不完全燃焼によるススの発生、不着火等を引き起こさないためにも出来るだけ近いところに**新鮮な空気を取り入れられる工夫**をお願いします。

連絡先:

電話番号:

担当者: